

各 位

## 『コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム』

～定量的な補修工法選定と具体的な適用事例～

**宮崎会場**

のご案内



本フォーラムは土木学会認定CPDプログラムです。

近年、コンクリート片の落下等の事故が社会問題となっており、コンクリート構造物の安全性の担保が最重要課題とされています。また経済的理由からコンクリート構造物の延命化も必要とされています。一般に、多くの材料や工法の中から、選択をしないといけない「コンクリートの補修」は難しいと言われます。しかし、補修のシナリオをルールに従ってデザインすると、決して難しいものではありません。

コンクリート補修の設計業務で、劣化機構の特定から「劣化指標値」の測定、「補修に要求される性能」と「限界劣化指標値」を考慮して、「補修工法の選択」と進めばいいと考えます。

そのような考えのもと、(一社)コンクリートメンテナンス協会ではコンクリート構造物の維持管理技術に関するフォーラムを全国各地で毎年開催しています。今年度のフォーラムでは、多方面から多才な講師を招聘して、今年4月に大幅改訂した本協会発行の技術資料に基づき、補修工法選定に重点を置いたコンクリート構造物の劣化メカニズムから補修工法の解説を行います。また、亜硝酸リチウムを用いた鉄筋腐食抑制およびASR膨張抑制の効果的な補修工法、厳しい施工条件に対応可能な杭基礎工法に関する最新の知見と実績を紹介いたします。

コンクリート構造物の維持管理業務に携わる皆様の一助となる内容をご提供できると思いますので、ご多忙中とは存じますが奮ってご参加いただきたくご案内申し上げます。

※「劣化指標値」とは劣化程度の指標となる数値で、塩化物イオン濃度の測定値、中性化残りの測定値、残存膨張量試験の測定値等であり、

「限界劣化指標値」は劣化程度を評価、判断するための基準となる数値です。

記

■開催日程 平成27年9月8日(火)  
13:00～17:00 (※開場 12:30)

■講演会場 宮崎市民プラザ 大会議室  
〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目1番2号

■主催：一般社団法人コンクリートメンテナンス協会 (<http://www.j-cma.jp/>)

■後援：(公社)日本コンクリート工学会、(公社)日本材料学会、(公社)農業農村工学会、(一社)セメント協会、(一社)建設コンサルタンツ協会及び各支部、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本コンクリート診断士会、コンクリート構造物の電気化学的防食工法研究会 (CP 工法研究会)、ASR リチウム工法協会、Q-R 工法協会

【測量設計業協会】

青森県測量設計業協会、岩手県測量設計業協会、宮城県測量設計業協会、山形県測量設計業協会、福島県測量設計業協会、茨城県測量設計業協会、岐阜県測量設計業協会、愛知県測量設計業協会、鳥取県測量設計業協会、島根県測量設計業協会、広島県測量設計業協会、山口県測量設計業協会、香川県測量設計業協会、高知県測量設計業協会、福岡県測量設計コンサルタンツ協会、佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会、長崎県測量設計業協会、大分県測量設計業協会、鹿児島県測量設計業協会

H27.3.31 現在

【マスコミ】

(株)建設産業新聞社、(株)中建日報社、(株)九建日報社

■後援依頼中：(公社)土木学会、(一社)日本建築学会、(公社)プレストレストコンクリート工学会、(公社)日本技術士会、

■講演内容

第一部 13:00~14:20 講師 江良 和徳 (工学博士 極東興和(株)所属)

演題 (前半)「コンクリートの劣化と補修工法選定の基本的な考え方」

第二部 14:30~16:00 講師 江良 和徳 (工学博士 極東興和(株)所属)

演題 (後半)「亜硝酸リチウムを用いた塩害、中性化、ASRの補修技術について」

第三部 16:10~17:00 講師 稲富 芳寿 (工学博士 高耐力マイクロパイル研究会理事)

演題「厳しい施工条件に対応可能な杭基礎工法 ～マイクロパイル技術～」

※受付開始 12:30

■参加申込

1) 申込先：(一社)コンクリートメンテナンス協会事務局のホームページよりそれぞれのフォーラムをお申込下さい。<http://www.j-cma.jp/>

2) 参加費：無料

※各会場、定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

■講習会用テキスト

当日のテキストとして、「コンクリート構造物の維持管理 技術資料 ～塩害・中性化・ASRの効果的な補修技術～2015」(2000円税込)を事前にホームページからご購入ください。<http://www.j-cma.jp/>